



平成 23 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名            オリンパス株式会社  
代表者名           代表取締役社長執行役員 高山 修一  
                         (コード：7733、東証第 1 部)  
問合せ先          広報・I R 室長 南部 昭浩  
                         (TEL. 03-3340-2111(代))

有価証券報告書等の訂正報告書の提出ならびに過年度決算短信等および  
平成 24 年 3 月期第 1 四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせ

当社は、本年 11 月 8 日付適時開示「過去の損失計上先送りに関するお知らせ」にてお知らせいたしました当社の過去の損失計上先送りについて、本年 12 月 6 日付にて第三者委員会（委員長：甲斐中辰夫 弁護士）より受領した調査報告書（以下、「調査報告書」という。）におけるご指摘を踏まえ、過年度決算訂正作業を進めてまいりました。

本年 12 月 14 日に、下記のとおり訂正等を行い、有価証券報告書および四半期報告書の訂正報告書を関東財務局へ提出いたしましたのでお知らせいたします。

なお、過年度決算短信等および平成 24 年 3 月期第 1 四半期決算短信につきましては、現在訂正作業を進めており、完了次第、速やかに公表いたします。

記

1. 訂正の内容

(1) 訂正の経緯・概要

当社は 1990 年代頃から有価証券投資、デリバティブ取引等にかかる多額な損失を抱え、その損失計上を先送りするため、平成 12 年 3 月期以降、当社の連結対象外の複数のファンドに、含み損の生じた金融商品等を契約金額（簿価）で譲渡し、当社の連結貸借対照表から含み損を分離しました（以下、当該複数ファンドを「受け皿ファンド」という）。その際、受け皿ファンドが当該金融商品等を契約金額（簿価）で購入できるように、当社は当社の預金等を担保に銀行から受け皿ファンドに融資をさせたほか、当社において事業投資ファンドを設立して出資を行ない、当該事業投資ファンドから受け皿ファンドへの貸付および出資等により資金を供給していました（以下、受け皿ファンドに資金を供給するために利用された預金等および事業投資ファンドへの出資金を「特定資産」という）。このようにして当社は含み損の計上を受け皿ファンドに分離しましたが、その損失は当社が特定資産を通じて受け皿ファンドに資金を供給することで、実質的に当社が負担しておりました。

なお、その後特定資産は、平成 19 年以降における国内子会社 3 社（株式会社アルティス、NEWS CHEF 株式会社及び株式会社ヒューマラボ）の買収資金および Gyrus Group PLC の買収に際しファイナンシャルアドバイザーに支払った報酬や優先株の買戻し資金を、当社およびファイナンシャルアドバイザーから受け皿ファンドに還流させ、受け皿ファンドから借入金を返済すること等を通じて、当初の簿価で回収されました。そして受け皿ファンドは清算され、特定資産を通じて当社が負担していた損失の一部は、上記国内子会社 3 社や Gyrus Group PLC ののれんとして資産に計上され、その一部はのれんの償却費や減損損失として損失計上することにより解消されました。

このような損失の分離および解消取引の経緯につきましては数名の役員が把握しておりましたが、巧妙に隠蔽されており、これまで当社として認識できておりませんでした。今般、調査報告書の指摘および社内調査の結果、上記事実が判明しましたので、損失計上を先送りするために当社の連結財務諸表から分離した金融資産等の含み損失等を過年度の当社の損失として認識する内容の訂正をすることといたしました。

## (2) 訂正の会計処理

上記(1)の通り、当社は受け皿ファンドに含み損を分離したものの、それを実質的に負担しておりました。また受け皿ファンドにおいては当社役員が単独で責任者を務めており、当社と受け皿ファンド間に資金の貸付もあるため、当社はこれら受け皿ファンドを実質的に支配していたと判断し、訂正を行なうにあたっては、以下の会計処理を行なうこととしました。

- ・ 受け皿ファンドを連結することによりこれまで連結財務諸表に含まれていなかった受け皿ファンドの借入金および含み損失を連結財務諸表に反映する。
- ・ これまで連結貸借対照表に計上されていた当社の一部特定資産を連結消去し、これに代えて簿外処理されていた受け皿ファンドの運用資産を連結財務諸表に反映する。
- ・ 受け皿ファンドに資金を還流させ損失を補填するために利用された国内子会社3社の買収資金およびGyrus Group PLCの買収に際しファイナンシャルアドバイザーに支払った報酬や優先株の買戻し資金は、これまで連結貸借対照表上のれんに計上されていたため、当該のれんを取消すとともにのれんの償却費およびのれんの減損損失も取り消す。
- ・ 受け皿ファンドの運用資産は、通常の投資とは異なり損失の分離および解消取引に係る一連のスキーム(以下、「損失計上先送りスキーム」という。)に基づき一体運用されたものであるため、連結貸借対照表では「ファンド運用資産」として一括表示する。

## (3) 訂正の影響額

これまで調査報告書および当社発表資料等におきまして、損失の分離および解消取引の当社財務諸表に与える影響額についての言及がございましたが、過年度決算訂正作業による精査の結果、以下のとおりとなりました。

連結貸借対照表上、当社は訂正報告書提出期間の期首(平成18年4月1日)において、損失を負担していた受け皿ファンドを連結することにより、当該時点の損失118,352百万円の金額を、期首連結利益剰余金から減額しています。

また、上記期首連結利益剰余金から減額された受け皿ファンドの損失の一部は、国内子会社3社の買収やGyrus Group PLCの買収時にのれんとして資産計上され、その後、当該のれんが償却されること等により、解消されました。この結果、訂正報告書提出期間の期末(平成23年3月31日)における連結利益剰余金は、訂正前の金額から56,907百万円減額しています。

なお、今回当社は平成19年3月期から有価証券報告書の訂正報告書を提出いたしましたでしたが、訂正作業は平成13年3月期まで遡って実施しており、その結果過年度における債務超過状態は確認されませんでした。

## 2. 12月14日に提出した訂正報告書

### (1) 有価証券報告書

- ①平成19年3月期(139期)有価証券報告書
- ②平成20年3月期(140期)有価証券報告書
- ③平成21年3月期(141期)有価証券報告書
- ④平成22年3月期(142期)有価証券報告書
- ⑤平成23年3月期(143期)有価証券報告書

### (2) 四半期報告書

- ①平成21年3月期(141期)第3四半期報告書
- ②平成22年3月期(142期)第1四半期報告書
- ③平成22年3月期(142期)第2四半期報告書
- ④平成22年3月期(142期)第3四半期報告書
- ⑤平成23年3月期(143期)第1四半期報告書
- ⑥平成23年3月期(143期)第2四半期報告書
- ⑦平成23年3月期(143期)第3四半期報告書
- ⑧平成24年3月期(144期)第1四半期報告書

3. 訂正する予定の決算短信等

- ①平成 19 年 3 月期 決算短信
- ②平成 20 年 3 月期 決算短信
- ③平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信
- ④平成 21 年 3 月期 決算短信
- ⑤平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信
- ⑥平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信
- ⑦平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信
- ⑧平成 22 年 3 月期 決算短信
- ⑨平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信
- ⑩平成 23 年 3 月期 第 2 四半期決算短信
- ⑪平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信
- ⑫平成 23 年 3 月期 決算短信
- ⑬平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

※ 受け皿ファンドに係る具体的な運用資産、評価額等に関する情報は当社において十分に管理されておらず、損失計上先送りスキームに関係していた外部関係者から会計情報の提供を受けること等により、訂正決算作業を行っていましたが、一部のファンドの運用資産の内容については特定できなかったことから、平成 19 年 3 月期および平成 20 年 3 月期に係る中間期、ならびに平成 21 年 3 月期に係る第 1 四半期および第 2 四半期に関しましては、訂正決算短信を作成していません。

#### 4. 訂正の影響額の詳細

##### (1) 連結損益計算書

[訂正前]

(百万円)

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	1,061,786	1,128,875	980,803	883,086	847,105
営業利益	98,729	112,623	34,587	60,149	35,360
経常利益	76,226	93,085	18,390	45,115	22,148
税金等調整前利益	73,580	94,612	△91,301	86,204	22,759
当期純利益	47,799	57,969	△114,810	47,763	7,381

[訂正内容]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
のれん償却戻し(販管費)	0	178	7,894	810	2,770
その他営業損益修正	0	25	241	201	250
<b>営業利益への影響 ①</b>	<b>0</b>	<b>203</b>	<b>8,135</b>	<b>1,011</b>	<b>3,020</b>
持分法損益の修正	1,723	1,542	0	0	0
ファンド損益の取消	397	2,458	△1,274	0	△3,105
その他営業外損益修正	0	25	427	△52	1,153
<b>経常利益への影響 ②</b>	<b>2,120</b>	<b>4,025</b>	<b>△847</b>	<b>△52</b>	<b>△1,952</b>
のれん減損取消	0	0	71,200	1,270	0
ファンド関連損失	△2,113	△6,941	△1,755	△499	△327
貸倒引当金繰入額(ファンド関連)	0	0	△4,763	0	△2,448
投資有価証券評価損修正	△694	△719	△394	3,037	0
のれん償却	0	0	0	0	△631
その他特別損益修正	0	0	△657	△269	△482
<b>税金等調整前利益への影響 ③</b>	<b>△2,807</b>	<b>△7,660</b>	<b>63,631</b>	<b>3,539</b>	<b>△3,888</b>
税金関連修正 ④	△150	12	△6,656	265	△694
少数株主持分修正 ⑤	0	77	△13	0	0
<b>当期純利益への影響</b> (①+②+③+④+⑤)	<b>△837</b>	<b>△3,344</b>	<b>64,249</b>	<b>4,764</b>	<b>△3,515</b>

[訂正後]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
売上高	1,061,786	1,128,875	980,803	883,086	847,105
営業利益	98,729	112,826	42,722	61,160	38,379
経常利益	78,346	97,312	25,679	46,075	23,215
税金等調整前利益	72,893	91,179	△20,383	90,703	19,938
当期純利益	46,962	54,625	△50,561	52,527	3,866

※ 用語の説明

<p>全般的説明：</p> <p>1. 連結範囲外の複数のファンドに分離された損失相当額は、国内子会社3社の買収資金及びジャイラス買収に関連して支払われたFA手数料並びに優先株の買取り資金により穴埋めされた（還流資金）。したがって、今回の不適切な会計処理の訂正方法は、過去に遡ってファンドを連結することにより、帳簿外に分離されていた損失を認識すること、および、還流資金の支出により、資産として計上されたのれんを取消すことである。</p> <p>2. 連結損益計算書においては、従来ののれんの償却費および減損損失を取消し、受け皿ファンドの連結により、新たにファンド損益を認識し、追加減損損失を認識する。</p>	
のれん償却戻し（販管費）	従来、のれん償却として認識された金額のうち、上記の取り消されたのれんに関連する償却費が不要となる。
その他営業損益修正	遡って固定資産の減損処理を行ったことに伴い、従前計上されていた減価償却費について減損処理済みとなった部分について戻す。
持分法損益の取消	ファンドが保有していた国内子会社3社株式に関する持分法処理を修正する。
ファンド損益の取消	今回ファンドを連結することに伴い、ファンドの運用損益等をファンド関連損益に組替える。また、従来認識されたファンドの償還損益については、内部取引とみなされるため、連結消去する（取り消される）。
のれん減損取消	穴埋め資金として利用され、従来、資産として計上されたのれんは、今回取り消されているため、関連するのれんの償却（特別損失処理）が不要となる。
ファンド関連損失	今回、帳簿外のファンドを過去に遡って連結したため、ファンドの借入金に関する支払利息、ファンド運営に関連する支払手数料等を損失として計上する。
貸倒引当金繰入額 （ファンド関連）	ファンド運営に関連して支払われた手数料のうち長期未収入金として計上されたものに対する回収不能見込額
投資有価証券評価損修正	今回、損失計上先送りスキームに利用された国内子会社3社については、株式の取得時点で評価損を計上し、従来の減損処理を戻し入れる。
税金関連修正	主として、従来ジャイラスの取得原価に含まれていたFA手数料に関連した税金修正

## (2) 連結貸借対照表

[訂正前]

(百万円)

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
投資有価証券	216,636	193,843	127,144	140,271	59,342
のれん	78,718	299,800	180,540	194,065	175,472
その他の資産	796,4456	868,649	803,180	824,618	829,772
総資産 計	1,091,800	1,358,349	1,106,318	1,152,227	1,063,593
総負債 計	746,929	990,473	937,535	935,336	896,757
純資産	344,871	367,876	168,784	216,891	166,836
うち、利益剰余金	191,122	237,817	110,407	168,238	170,439

[訂正内容]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
ファンド連結に伴う特定資産の修正	△ 111,640	△ 99,837	△ 64,555	△ 61,823	0
<b>投資有価証券への影響</b>	<b>△ 111,640</b>	<b>△ 99,837</b>	<b>△ 64,555</b>	<b>△ 61,823</b>	<b>0</b>
<b>ファンド運用資産の認識</b>	<b>57,505</b>	<b>67,816</b>	<b>8,458</b>	<b>65,880</b>	<b>0</b>
ファンドへの資金流入 (のれんの修正)	0	△ 72,219	△ 90,989	△ 51,506	△ 49,164
のれん償却・減損戻し	0	178	80,701	2,342	7,548
のれん償却認識	0	0	0	0	△ 806
<b>のれんへの影響</b>	<b>0</b>	<b>△ 72,041</b>	<b>△ 10,288</b>	<b>△ 49,164</b>	<b>△ 42,422</b>
<b>その他資産への影響</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,668</b>	<b>△ 2,267</b>	<b>△ 7,354</b>	<b>△ 6,775</b>
その他負債増減	784	△ 18,134	△ 10,775	6,062	6,824
ファンド関連借入金	30,000	0	0	0	0
<b>総負債への影響</b>	<b>30,784</b>	<b>△ 18,134</b>	<b>△ 10,775</b>	<b>6,062</b>	<b>6,824</b>
有価証券評価差額金	△ 730	△ 986	△ 854	△ 1,081	0
為替換算調整勘定	0	0	1,261	840	5,649
その他	0	△ 77	0	0	127
期首剰余金調整	△ 118,352	△ 119,189	△ 122,533	△ 58,283	△ 53,519
当期純利益調整額	△ 837	△ 3,344	64,249	4,764	△ 3,515
<b>純資産への影響</b>	<b>△ 119,919</b>	<b>△ 123,596</b>	<b>△ 57,877</b>	<b>△ 53,760</b>	<b>△ 51,385</b>

[訂正後]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
投資有価証券	104,996	94,006	62,589	78,448	59,342
ファンド運用資産	57,505	67,816	8,458	65,880	0
のれん	78,718	227,759	170,252	144,900	133,050
その他の資産	761,446	827,591	796,954	815,300	826,768
総資産 計	1,002,665	1,217,172	1,038,253	1,104,528	1,019,160
ファンド関連借入金	30,000	0	0	0	0
総負債 計	777,714	972,891	927,346	941,397	903,581
純資産	224,951	244,281	110,907	163,131	115,579
うち、利益剰余金	71,933	115,285	52,124	114,719	113,532

※ 用語の説明

全般的説明：連結貸借対照表においては、主に、①特定資産の連結消去、②のれんの取消、③ファンド運用資産の認識、および④ファンド関連借入金の認識が行われている。	
ファンド連結に伴う特定資産の修正	損失の分離に利用されたファンドについては、実質的な支配関係を踏まえ連結を行ったため投資勘定を連結消去している。
ファンド運用資産の認識	連結したファンドは、損失の分離及び解消取引に係る一連のスキームに基づいて一体運用されたものであるため、ファンドが保有する資産について一括して認識する。
ファンドへの資金流入 (のれんの修正)	のれんとして計上されている買収資金や買収に係る手数料のうち、損失解消資金として使用される部分については、のれんの計上を取り消し、ファンドへの資金流入によるファンド運用資産として認識している。
のれん償却・減損戻し	計上を取り消したのれんについて、過年度に実施したのれんの償却・減損を消去している。
その他資産増減	主として、固定資産の減損損失を認識
その他負債増減	主として、有価証券の譲渡取引に関連した修正に伴う税金債務を認識。買収に係る手数料計上時に認識した債務の取崩
ファンド関連借入金の認識	当社の預金を担保にして、ファンドが調達した借入金を認識する
期首剰余金調整	訂正期間の期首（平成18年4月1日）において、ファンドを連結することにより損失見込額を認識し、その後の訂正による損益影響額を累積
当期純利益調整額	訂正に伴う損益影響額

(3) 連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

(百万円)

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	159,307	174,802	119,842	132,720	203,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,400	89,006	41,628	76,245	32,917
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96,481	△ 304,303	△ 20,728	△ 20,967	16,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,192	164,401	△ 3,751	17,355	△ 37,359
現金及び現金同等物の換算差額	1,298	△ 4,405	△ 4,435	△ 2,905	△ 5,931
現金及び現金同等物の増減額	15,409	△ 55,301	12,714	69,728	6,182
連結範囲変更による現金及び現金同等物の増減	86	341	164	565	1,190
現金及び現金同等物の期末残高	174,802	119,842	132,720	203,013	210,385

[訂正内容]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	△ 35,000	0	0	0	0
ファンド関連費用の支払額	0	△ 802	0	0	0
ファンド資金の流出	0	0	△ 4,763	0	△ 2,448
<b>営業活動によるキャッシュ・フローへの影響</b>	0	△ 802	△ 4,763	0	△ 2,448
<会社処理の取り消しによる影響>	0	0	0	0	0
定期預金の預け入れ	35,000	0	△ 35,000	0	0
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	49	△ 36,850	0	△ 63,105
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	0	29,607	0	0	0
子会社株式の取得による支出	0	18,347	19,012	57,921	0
<今回の訂正による影響>	0	0	0	0	0
ファンド資産の資金化	0	30,000	76,614	0	65,553
ファンドへの資金移動	0	△ 47,804	△ 19,012	△ 57,921	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フローへの影響</b>	35,000	30,199	4,764	0	2,448
長期借入金の返済による支出	0	△ 30,000	0	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フローへの影響</b>	0	△ 30,000	0	0	0

[訂正後]

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	124,307	174,802	119,842	132,720	203,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,400	88,204	36,864	76,245	30,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 61,481	△ 274,104	△ 15,964	△ 20,967	19,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,192	134,401	△ 3,751	17,355	△ 37,359
現金及び現金同等物の換算差額	1,298	△ 4,405	△ 4,435	△ 2,905	△ 5,931
現金及び現金同等物の増減額	50,409	△ 55,904	12,714	69,728	6,182
連結範囲変更による現金及び現金同等物の増減	86	944	164	565	1,190
現金及び現金同等物の期末残高	174,802	119,842	132,720	203,013	210,385

※ 用語の説明

全般的説明：	
<p>1. 受け皿ファンドの運用資産は、通常の投資とは異なり損失計上先送りスキームに基づき一体運用されたものであるため、連結貸借対照表では「ファンド運用資産」として一括表示することに関連して、受け皿ファンドで保有する金融機関への預け金は、資金の範囲から除いている。</p> <p>2. 資金の範囲に関しては、受け皿ファンドとの資金取引を表すことを目的に、ファンドが保有する金融機関への預け金も資金の範囲に含めず、ファンド運用資産に含めている。また、受け皿ファンドに資金を供給する目的で担保設定された銀行預金に関しても拘束されていることから、資金の範囲に含めていない。</p> <p>3. 連結キャッシュ・フロー計算書においては、受け皿ファンドとの貸借取引を、①還流資金、②ファンドからの資金の回収等、損失計上先送りスキームにおける一連の資金の流れを表示している。</p>	
現金及び現金同等物の期首残高	訂正前では、満期日が3か月以内に到来する定期預金は資金として処理していたが、訂正後は、特定資産として設定された定期預金はファンド資産の一部として取り扱い、平成19年3月期の期首時点より資金の範囲から除いている。
ファンド関連費用の支払額	ある受け皿ファンドの解散時の含み損失処理等の支出を計上している
ファンド資金の流出	損失計上先送りスキームに関与した外部の協力者に支払われた資金を計上している。
定期預金の預け入れ	現金及び現金同等物の期首残高の箇所に記載のとおり、平成19年3月期の期首時点より資金の範囲から除いているため、訂正前の会社処理を取り消したものの
投資有価証券の売却及び償還による収入	訂正前では、受け皿ファンドの解散による収入を計上していたが、訂正後ではファンドからの還流資金の回収であると考えファンド資産の資金化として表示している。
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	損失計上先送りスキームに利用された国内子会社3社の株式取得時に支払った還流資金に関する訂正前での処理を取り消し、訂正後ではファンドへの資金移動に計上している。
子会社株式の取得による支出	損失計上先送りスキームに利用された国内子会社3社株式の追加取得時及びジャイラス社優先株の買取時に支払った還流資金の訂正前での処理を取り消し、訂正後ではファンドへの資金移動に計上している。
ファンド資産の資金化	ファンドからの還流資金の回収を計上している。
ファンドへの資金移動	還流資金の原資となる資金の支出を計上している。

5. 監査報告書について

今回提出した有価証券報告書および四半期報告書の訂正報告書につきましては、平成21年3月期以前については有限責任 あずさ監査法人の監査を受け限定付適正意見を、平成22年3月期以降については新日本有限責任監査法人の監査を受け、無限定適正意見をいただいております。

以 上

<参考> 過年度訂正概要

(訂正) 有価証券報告書

(百万円)

(連結)		訂正前 (B)	訂正後 (A)	影響額 (A) - (B)	影響率 (%) ( (A) - (B) ) / (B)
平成 19 年 3 月期 (139 期)	売上高	1,061,786	1,061,786	0	0%
	営業利益	98,729	98,729	0	0%
	経常利益	76,226	78,346	2,120	3%
	当期純利益	47,799	46,962	△ 837	△ 2%
	総資産	1,091,800	1,002,665	△ 89,135	△ 8%
	純資産	344,871	224,951	△ 119,920	△ 35%
平成 20 年 3 月期 (140 期)	売上高	1,128,875	1,128,875	0	0%
	営業利益	112,623	112,826	203	0%
	経常利益	93,085	97,312	4,227	5%
	当期純利益	57,969	54,625	△ 3,344	△ 6%
	総資産	1,358,349	1,217,172	△ 141,177	△ 10%
	純資産	367,876	244,281	△ 123,595	△ 34%
平成 21 年 3 月期 (141 期)	売上高	980,803	980,803	0	0%
	営業利益	34,587	42,722	8,135	24%
	経常利益	18,390	25,679	7,289	40%
	当期純利益	△ 114,810	△ 50,561	64,249	—
	総資産	1,106,318	1,038,253	△ 68,065	△ 6%
	純資産	168,784	110,907	△ 57,877	△ 34%
平成 22 年 3 月期 (142 期)	売上高	883,086	883,086	0	0%
	営業利益	60,149	61,160	1,011	2%
	経常利益	45,115	46,075	960	2%
	当期純利益	47,763	52,527	4,764	10%
	総資産	1,152,227	1,104,528	△ 47,699	△ 4%
	純資産	216,891	163,131	△ 53,760	△ 25%
平成 23 年 3 月期 (143 期)	売上高	847,105	847,105	0	0%
	営業利益	35,360	38,379	3,019	9%
	経常利益	22,148	23,215	1,067	5%
	当期純利益	7,381	3,866	△ 3,515	△ 48%
	総資産	1,063,593	1,019,160	△ 44,433	△ 4%
	純資産	166,836	115,579	△ 51,257	△ 31%

## (訂正) 有価証券報告書

(百万円)

(個別)		訂正前 (B)	訂正後 (A)	影響額 (A) - (B)	影響率 (%) ( (A) - (B) ) / (B)
平成19年3月期 (139期)	売上高	106,079	106,079	0	0%
	営業利益	△ 4,723	△ 4,723	0	0%
	経常利益	7,502	7,899	397	5%
	当期純利益	8,036	5,907	△ 2,129	△ 26%
	総資産	572,678	451,429	△ 121,249	△ 21%
	純資産	236,136	115,083	△ 121,053	△ 51%
平成20年3月期 (140期)	売上高	113,871	113,871	0	0%
	営業利益	△ 5,515	△ 5,515	0	0%
	経常利益	38,264	37,517	△ 747	△ 2%
	当期純利益	41,308	31,163	△ 10,145	△ 25%
	総資産	788,853	639,752	△ 149,101	△ 19%
	純資産	244,568	113,149	△ 131,419	△ 54%
平成21年3月期 (141期)	売上高	105,115	105,115	0	0%
	営業利益	△ 12,345	△ 12,345	0	0%
	経常利益	5,556	5,701	145	3%
	当期純利益	△ 136,227	△ 63,545	72,682	—
	総資産	627,610	572,078	△ 55,532	△ 9%
	純資産	93,999	35,132	△ 58,867	△ 63%
平成22年3月期 (142期)	売上高	86,977	86,977	0	0%
	営業利益	△ 7,673	△ 7,673	0	0%
	経常利益	27,196	26,846	△ 350	△ 1%
	当期純利益	26,705	29,133	2,428	9%
	総資産	697,485	646,605	△ 50,880	△ 7%
	純資産	132,244	75,579	△ 56,665	△ 43%
平成23年3月期 (143期)	売上高	86,737	86,737	0	0%
	営業利益	△ 8,917	△ 8,917	0	0%
	経常利益	2,394	△ 230	△ 2,624	—
	当期純利益	12,142	6,357	△ 5,785	△ 48%
	総資産	677,081	617,213	△ 59,868	△ 9%
	純資産	125,407	64,038	△ 61,369	△ 49%

## (訂正) 四半期報告書

(百万円)

		訂正前 (B)	訂正後 (A)	影響額 (A) - (B)	影響率 (%) ( (A) - (B) ) / (B)
平成 21 年 3 月期 (141 期) 第 3 四半期	売上高	754,185	754,185	0	0%
	営業利益	29,945	36,958	7,013	23%
	経常利益	19,864	26,030	6,166	31%
	四半期純利益	△ 27,672	△ 35,303	△ 7,631	—
	総資産	1,195,106	1,056,719	△ 138,387	△ 12%
	純資産	241,281	111,766	△ 129,515	△ 54%
平成 22 年 3 月期 (142 期) 第 1 四半期	売上高	205,169	205,169	0	0%
	営業利益	11,360	11,625	265	2%
	経常利益	6,985	7,175	190	3%
	四半期純利益	1,806	1,871	65	4%
	総資産	1,104,785	1,036,486	△ 68,299	△ 6%
	純資産	185,941	127,438	△ 58,503	△ 31%
平成 22 年 3 月期 (142 期) 第 2 四半期	売上高	435,421	435,421	0	0%
	営業利益	28,518	28,695	177	0%
	経常利益	18,494	18,441	△ 53	△ 0%
	四半期純利益	36,193	38,399	2,206	6%
	総資産	1,137,600	1,069,841	△ 67,759	△ 6%
	純資産	204,298	146,810	△ 57,488	△ 28%
平成 22 年 3 月期 (142 期) 第 3 四半期	売上高	651,937	651,937	0	0%
	営業利益	45,046	45,834	788	2%
	経常利益	33,135	33,611	476	1%
	四半期純利益	43,685	46,294	2,609	6%
	総資産	1,128,901	1,062,692	△ 66,209	△ 6%
	純資産	214,952	158,239	△ 56,713	△ 26%
平成 23 年 3 月期 (143 期) 第 1 四半期	売上高	206,006	206,006	0	0%
	営業利益	11,154	11,944	790	7%
	経常利益	9,029	10,010	981	11%
	四半期純利益	1,501	△ 49	△ 1,550	—
	総資産	1,097,071	1,049,066	△ 48,005	△ 4%
	純資産	185,922	132,397	△ 53,525	△ 29%

## (訂正) 四半期報告書

(百万円)

		訂正前 (B)	訂正後 (A)	影響額 (A) - (B)	影響率 (%) (A) - (B) / (B)
平成23年3月期 (143期) 第2四半期	売上高	417,327	417,327	0	0%
	営業利益	20,831	22,380	1,549	7%
	経常利益	19,137	19,263	126	1%
	四半期純利益	7,046	3,806	△ 3,240	△ 46%
	総資産	1,063,177	1,017,186	△ 45,991	△ 4%
	純資産	180,482	128,244	△ 52,238	△ 29%
平成23年3月期 (143期) 第3四半期	売上高	624,013	624,013	0	0%
	営業利益	29,754	32,039	2,285	8%
	経常利益	26,076	26,881	805	3%
	四半期純利益	8,677	5,844	△ 2,833	△ 33%
	総資産	1,049,382	1,004,939	△ 44,443	△ 4%
	純資産	160,173	109,477	△ 50,696	△ 32%
平成24年3月期 (144期) 第1四半期	売上高	198,572	198,572	0	0%
	営業利益	4,464	5,243	779	17%
	経常利益	67	851	784	1170%
	四半期純利益	△ 2,154	△ 1,423	731	—
	総資産	1,097,490	1,054,918	△ 42,572	△ 4%
	純資産	151,147	101,751	△ 49,396	△ 33%